

8月27日正午必着

明石春浦先生書



陽炎や手に下駄はいて善光寺（小林一茶）

明石幸子書



相逢惟在道
谁不知貧者
花暗竹房春
亦有二棲閑意
何年可寄身

(石召)

8月27日正午必着

梅雨はれて 夕空ひろし ここに見る
筑波の山の大きかりけり (古泉千櫻)

可_ニ是禪房無_ニ熱到_一 (白居易)
但能心靜卽身涼

歸心常共知 彌_ニ無依倚_一
彼此_ニ離_一 東西又別離

送喻坦之歸_ニ睦州_一 (李頻)

山雲含_レ雨潤_一 江樹逆_レ潮敲_一
莫_レ戀_ニ漁樵興_一 人生各有_レ爲

高臥北窓_一 (陶潛)

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

北窓に高臥す

是禪房熱の到る無かるべけんや
但能く心靜かなれば卽ち身も涼し

喻坦之が睦州に帰るを送る 李頻
帰心常に共に知る 帰路相隨わず
彼此依倚すること無く 東西又た別離す
山雲雨を含んで潤い 江樹潮に逆らつて敲つ
漁樵の興を恋うること莫かれ 人生各々為すこと有り

夏日の晝寝の樂みをいう。

禪房も暑さは同じであるが、心を靜にもてば
自ら涼しいものである。

草履單衣竹杖班 孤村七月聽綿蠻

青青稻長惠原里 淡淡雲懸三坂山

(正岡子規)

草履单衣竹杖の班 孤村七月綿蠻を聴く

青々として稻は長ず惠原の

里 淡々として雲は懸かる三坂の山。



叶采園先生書

半紙部規定課題A

8月27日正午必着



※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

8月27日正午必着

行書

草書

胸を傷めつつ詩を吟じ、ただひとり歩む。すべてに深い感懷をもよおす。
かの人が魚を釣ったところに久しく立ちつくすとき、ただ鳥の声がきこえてくるだけ。
山中の蔬菜は雨にうたれて枯れ尽き、水辺の樹木が籬の中にはいりこんでいる。
いまわれこの谷川のほとりにあって、君を懐しみ、悲しみ悼む気持をおし静めることができない。

行草書

久立釣魚處
魚處久立釣

久立釣魚處
魚處久立釣

久立釣魚處
魚處久立釣

久立釣魚處
魚處久立釣

隸書

明石春浦先生書

經周處士故居

方干

愁吟與獨行
何事不關情

惟聞啼鳥聲
久立釣魚處

海樹入籬生
吾在茲溪上

周處士故居

方干

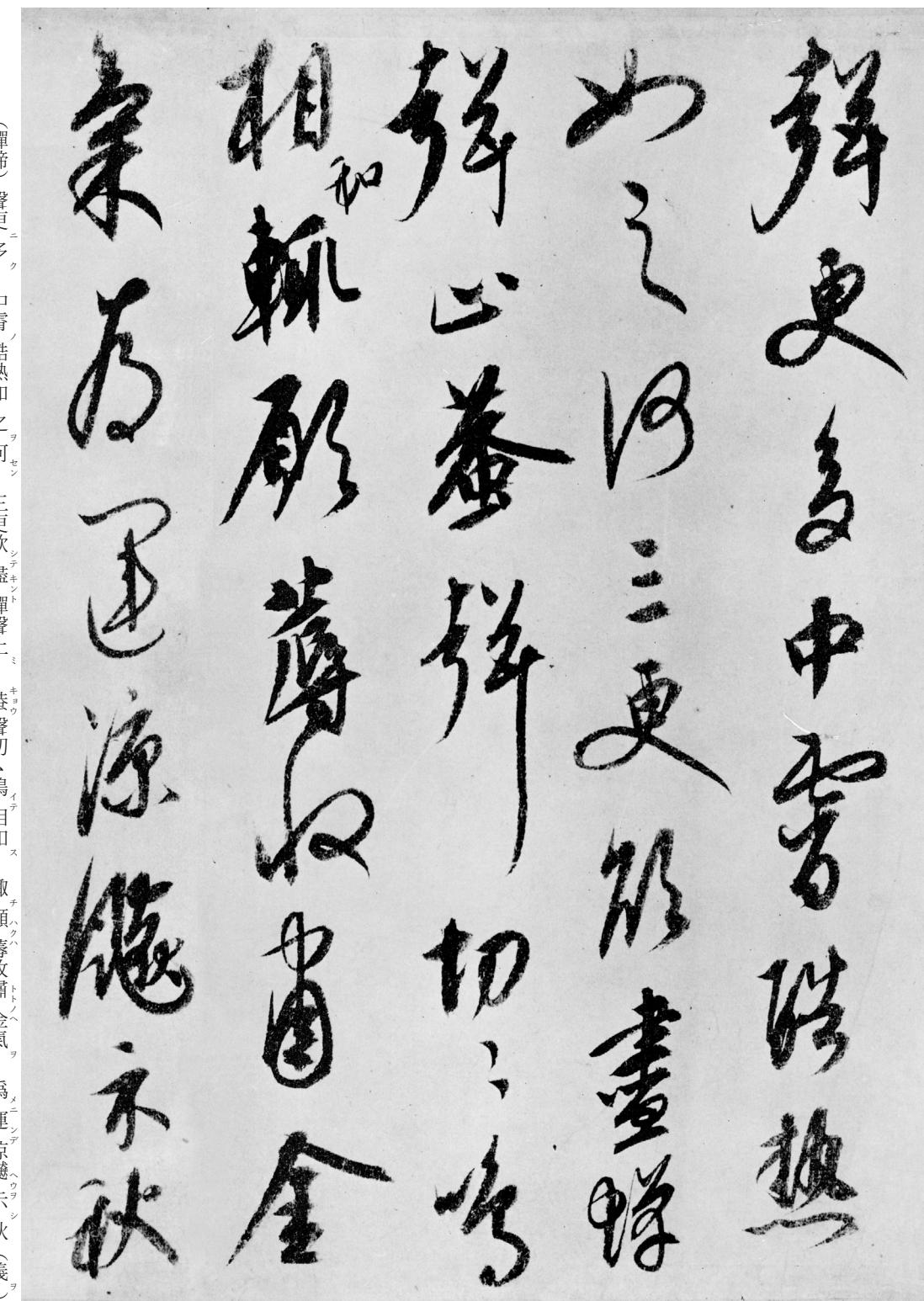
愁吟與獨行
何事不關情

方干

周處士故居
愁吟與獨行
何事不關情
周處士故居
愁吟與獨行
何事不關情
周處士故居
愁吟與獨行
何事不關情

朝日新聞社刊
三體詩下刊

条幅部半紙部臨書課題



8月27日正午必着

条幅部半紙部臨書参考

叶采園先生臨書



中霄
酷熱

元・康里子山・秋夜感懷詩

康里子山（一二九五～一三四五・貞元元年～至正五年）。子山は字で、名は巒巒。西域の康里氏、東平王忽木の子。康里氏は中央アジアのカスピ海の北あたりにいたトルコ系遊牧民で、チンギス遠征の折に連れてこられた。元朝では漢人は虐待され、康里氏のような色目人（雑多な民族）が重用された。

至正四年（一二九四）、江浙行省平章政事として杭州に赴任し、翌五年、翰林学士承旨として大都へ召還せられ、五月大都へ到着後七日目に熱病で没した。五十一歳。
彼の書は、正書は虞世南を師とし、行草は鍾繇、王羲之・王献之を師とし、米芾の影響も受けたと言われている。同時代の趙孟頫の形狀の美しさとは異なり、それほど形狀の美しさは求めず、比較的奔放に書いていると言われ、一日に三万字を書いたと言われるようによほど筆は速かったようで、この作品には躍动感があり、しんのしつかりした風格の高さが感じられると言われている。（春濤）

中霄
酷熱
如
三
更
欲
盡
蟬
聲
止

8月27日正午必着

教育部毛筆



雨宮春聲先生書

眺

望

中学一年



沙

漠

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



仲

間

小学五年

榎戸 春龍先生書



旅

券

小学六年

横川春川先生書

8月27日正午必着



とう
東

ぎい
西

小学三年



とう
黄

こん
金

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



そ
ら

小学一年・幼年

明石幸子書



だい
おう
王

小学二年

森川春濤書

8月27日正午必着

教育部 硬筆

生物が住んでいる
海底には変わった

夏休みのできごと
を日記に記録する

なく友達で、よう

いつまでも絶えること

タぐれに見上げる空
うつぱーあなた探し

ペン字部

思ひわび さても命はあるものを憂きにたへぬは涙なりけり (道因法師)

小学五年

小学六年

中 学

一般(級位)

一般(段位)

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

よせ
しろ
くる
い
は
な
ま
み
べ

幼年

を
い
そ
かい
けで
の
ぼ
る
み
ち

小学一年

ゆ
ク
ら
ゆ
け
は
お
よ
ぐ
を

小学二年

た
林
の
中
か
み
で
き
り
見
つ
虫

小学三年

遠
浅
の
海
で
き
れ
い
な
貝
から
を
あ
つ
め
た

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。(ボールペン不可)
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

半紙部かな参考

8月27日正午必着

